

いまださら聞けない



いまだから聞きたい

このコーナーでは読者の皆さんのインターネットに関する疑問や質問にお答えします。「？」と感じたことはどのようなことでも構いませんので、下記のメールアドレスまでご質問ください。なお、ご質問へのメールでの回答はできませんのでご了承ください。  
ご質問はこちらまで  
im-faq@impress.co.jp

Frequently Asked Question

今月のポイント

- 1 ウェブアクセシビリティとは？
- 2 IP電話のメリットとデメリットは？



ウェブアクセシビリティという言葉が最近耳にしますが、何のことか教えてください。(千葉県 大原さん)



「ウェブアクセシビリティ」とは、「高齢者や障害者などが、ウェブサイト上で提供されている情報やサービスを問題なく利用できること」という意味です。最近ではウェブコンテンツの制作においてその重要性が指摘されています。

たとえば視覚障害者は、これまで点訳された本を読んだり、誰かに読んでもらったりして情報を得ていましたが、点訳には時間がかかり、リアルタイムに情報を入手することは困難でした。しかし、パソコン画面の文字を読み上げるスクリーンリーダーや音声ブラウザなどの支援ソフトを使ってウェブを利用することで、自分が欲しい情報を健常者とほぼ同じタイミングで、また自分のペースで入手できるようになりました。これにより、さまざまな情報にアクセスでき、生活自体もより豊かなものになりました。

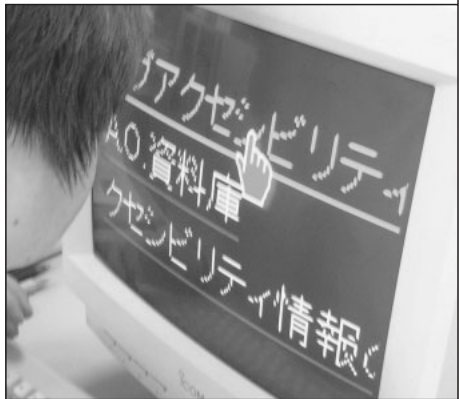
しかし、ウェブコンテンツの作り方によっては、高齢者や障害者が利用する際に問題となる場合があります。前出の支援ソフト

は画面上の文字は読み上げますが、写真や地図などの画像情報を読み上げることができないため、目の見えない人には画像が表示している内容はわかりません。また極端に文字が小さいページは、弱視の人や高齢者にとって大変使いづらいものです。こうした問題を回避するためには、写真の内容や地図の道順をテキスト情報で補足したり、極端に小さい文字を避けたり、また文字の色と背景色のコントラストを十分に取ったりして、ユーザーの利用環境や特性について適切な配慮を積み重ねていくことが必要なのです。

1999年5月、W3Cは、ウェブサイトのアクセシビリティを確保するための要件としてWCAG1.0\*1を公開しました。2001年6月には、米国では、政府機関

が購入・調達するIT機器やウェブサイトはアクセシブルでなければならなくなりました。国内では6月20日にウェブコンテンツのアクセシビリティに関するJIS規格が制定され、自治体や企業の対応が求められています。(アライド・ブレインズ 伊敷政英)

\*1 Web Content Accessibility Guidelines 1.0。ウェブ技術の標準化などを行っているW3Cで制定。現在はWCAG2.0を検討中。



画面の一部を拡大する「ZoomText」で作業中の筆者(筆者自身も弱視)。7倍に拡大し、さらに色を反転している。

高齢者や障害者の利用特性に配慮したウェブ  
JIS制定が本格的なアクセシビリティ取り組みの第一歩



## Q

自宅の電話をIP電話に変えたいのですが、メリットとデメリットについて教えてください。また、通常の電話と比べて何か特別な制約はありますか？(愛媛県 今西さん)

## A

IP電話にはいくつかの種類がありますが、ここでは050番号が付くIP電話サービスについて解説します。

通常、私たちが使っている固定電話の音声はアナログですが、IP電話では音声をデジタル化し、IPネットワークを利用して通信します。この場合、情報量が増え、固定電話に比べて2倍程度の帯域が必要になります。ですから56kbpsダイヤルアップモデム接続や64kbpsのISDNでは帯域が不十分で、より高速なブロードバンド回線が必要になります。このため、家庭で利用できる多くのIP電話は、ADSL、FTTH、CATVなどのブロードバンド常時接続サービスの付加サービスとして販売されています。

IP電話を契約すると、通常、IP電話アダプターと呼ばれるボックスをプロバイダーからリースします。IP電話アダプターは一方にブロードバンド回線を、他方に電話機を接続して利用します。電話機は、現在固定電話で利用しているものがそのまま接続できます。サービス事業者によって多少異なりますが、IP電話アダプターを利用する際に電話番号などの設定が必要な場合と、単純に接続するだけで利用できる場合があります。いずれの場合も、配線が完了してサービス事業者からIP電話サービス開始の連絡が入ると、IP電話が利用できます。IP電話アダプターには、ADSLモデムなどの回線装置と一体型のものや、ルーターや無線LANなどが内蔵されたものもあるので、必要に応じて選択してください。配線終了後はIP電話アダプターを操作す

# 「プロバイダーサービスを利用して電話料金を格安に！ 110番と119番にはかけられない」

る必要はありません。

IP電話の最大のメリットは従来の固定電話とほぼ同じ電話サービスが、無料または格安で利用できることです。大きなデメリットはありませんが、従来の固定電話とは異なるサービスなので、次のような違いを認識しておくことが必要でしょう。

(1)電話料金:同一IP電話事業者内のIP電話同士の通話は無料が一般的ですが、同じIP電話同士でも有料になることがあるので注意が必要です(下表を参照)。料金や条件が頻繁に変更されるので比較は難しいですが、一般に市外通話の場合はIP電話のほうが安くなると言えます。

(2)品質:固定電話とほとんど変わらない音声品質です。稀に音声が途切れたり聞きづらくなったりすることがあるようですが、いったん電話を切ってかけ直すことでほとんどの場合は解消します。メンテナンスなどで一時的にサービスが中断する場面もありますが、ADSLの場合はIP電話アダプター内部で切り替わってNTTなど既存の固定電話回線から発信できます。この場合、電話料金は通常の固定電話の料金に

なります。ただし、FTTHの場合に同様のトラブルが発生すると、電話がかかけられなくなるので代替手段が必要かもしれません。

(3)かけられない電話番号:現時点ではIP電話からは、110番と119番にはかけられません。ADSLの場合はIP電話アダプターが自動的に切り替わって固定電話から110番と119番へ接続するものもありますが、FTTHの場合は代替手段が必要です。また、フリーダイヤル(0120)のように、固定電話事業者が提供するサービス番号はIP電話では利用できないものがあります。必要なサービス番号がある場合は、IP電話事業者に確認してください。

(4)FAX:IP電話アダプターでFAXも利用できます。FAXの電子音はインターネットの混雑の影響を受けやすいため、一時的に送受信がエラーになることもありますが、時間を置いて再送するとほとんどの場合は送受信が完了します。

主な注意点を挙げましたが、自分の利用目的に合ったサービスを選択して、IP電話のメリットを享受してください。

(IP電話普及推進センタ 川西素春)

固定電話とIP電話の料金比較

		【単位:円/3分】				
電話事業者		市内	隣接区域	20km以内	20km~60km	60km以上
固定電話	昼時間帯(8:00~19:00)	8.5	20	20	30	40
	着信先が携帯電話の場合	70				
IP電話	着信先が050番号を持つIP電話の場合	10.4~10.8				
	同一IP電話事業者内	0				
	提携(無料接続)事業者間	0				
	提携(有料接続)事業者間	8.0				
	IP電話から固定電話	7.5~8.0				
	IP電話から携帯電話	54~75				
IP電話から国際電話(米国)		7.5~27				

\*各社が公開する料金表より抜粋



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)